

## テーマ設定の趣旨とワークショップの展開

藤山新（東洋大学現代社会総合研究所）

キーワード：スポーツとジェンダー、ライフコース、日常（生活）世界

### ワークショップの概要と目的

このワークショップは、ジェンダーについて学びはじめた人や、これから学ぼうと考えている人々を対象に、特に日常生活のなかで「ジェンダーに関わる問題」がどのようにあらわれてくるのか、何が「ジェンダーに関わる問題」であるのかということについて、理解を深めることを目的とします。

そのために、ここでは特にワークショップの「ワーク」という言葉に忠実に、参加者全員でライフコースに沿った「すごろく」を作り、相互にそれを検討しあうことで理解を深めるという方法をとります。

### 何ゆえに「すごろく」なのか？

唐突に、玩具の一種である「すごろく」が登場したことに、とまどう参加者の方もおられるかも知れませんが、すごろくという形態は人間のライフコースを表現しやすく、加えてその流れを視覚的に理解しやすい物なので、それだけ日常にあらわれるジェンダーに関する問題をより身近に感じ、理解しやすくすることができるツールであると考えられます。また、もともとが広く知られた玩具なので取り組みやすく、作成にあたって特別な技術を必要としません。したがって、参加するための障壁が比較的低いと考えられます。

さらに、すごろくは基本的に複数で用いる物なので、作成の過程だけでなく、その後の検討、討議の段階においても、複数による意見の交換がしやすい仕掛けであると考えられます。つまり、すごろくはジェンダー問題に気づくための「きっかけ」として、使いようによっては有効に作用すると考えられるのです。

### 進行方法

コーディネーターより、ワークショップの趣旨説明

話題提供者より、どのようなきっかけでジェンダーに興味を持ったのか、今現在どういった研究をしているのかについて説明

グループ分け

すごろく作成の説明

すごろくの作成

各グループのすごろく紹介、問題提起

相互に検討し、意見交換を行なう

全体に共通して見られる傾向をまとめて終了

### 実際に、どのようなすごろくを作るのか

日本スポーツとジェンダー学会の大会ですから、まずはスポーツ選手を志す人のライフコースをすごろくにすることを基本に考えています。問題の気づきやすさという点では、女性のライフコースの方が作りやすいかも知れませんが、男性のライフコースと比較することで、性別による問題の表れ方の相違を認識することも可能でしょうし、さらなる深い問題を見出す可能性もありますので、男女それぞれのパターンができるよう、それぞれのグループに割り振りしたいと思います。

すごろくを作るなかで、皆さんが体験してきた事柄が、実はジェンダーに関わる問題だったということも、きっと発見できるでしょう。ですから作成にあたっては、ぜひとも自分の経験や意見をたくさんしゃべってください。ひとりひとりの体験が、新たな発見を生む可能性を広げることになるでしょう。

ただし、ここで注意して頂きたいのは、決してゲームとして面白いものが求められている訳ではない（もちろん、面白いにこしたことはないけれど）という点です。

むしろ重要なのは、すごろくを作成した後で、相互に似通った点や異なった点について、議論して行くことです。議論することで、自分だけでは思い付かなかった視点が拓けてくる、他者と知識を共有することができる。それが、このワークショップ最大の狙いです。その狙いが達成されれば、ジェンダーを学ぶことが「楽しく」なるはずです。

「楽しく」ジェンダーを学ぶことは、この世に山と存在する「ジェンダー問題」を解決するために、きっと大きな一歩になると思います。そうした一歩を皆さんが踏み出すためのお手伝いができるよう、実のあるワークショップを運営して行く所存ですので、よろしくお願い致します。